



## ねんきんネットで年金相談できます

日本年金機構では、令和7年1月よりねんきんネットによるオンライン文書相談のサービスを開始しました。本サービスは、マイナポータル経由でねんきんネットにログインし、ねんきんネットの入力フォームにご相談内容を登録することで、後日、日本年金機構からの回答がねんきんネットに届くものです。

現在、以下のかたを対象に限定して試行実施をしています。

- ・海外にお住まいのかた
- ・聴覚や発話等の障害や、身体等に障害があり、電話や年金事務所での相談が難しいかた

詳細は、日本年金機構のホームページ「ねんきんネット」によるオンライン文書相談の御案内（試行実施中）をご覧ください。

## ねんきん定期便・ねんきんネット専用ダイヤル

- 0570-058-555（ナゴダイヤル）
- 03-6700-1144（IP電話からかけるとき）

問合せ 太田年金事務所 ■49-3716



## 慌てないで！災害後に増える住宅修理のトラブル

### 【事例】

突然事業者が来訪し「お宅の屋根瓦がずれているのが見えた。地震の影響かもしれない。3千円で点検する」と言われ、地震の後で影響が心配だったので依頼した。翌日点検してもらったところ、屋根瓦の写真を見せられ「放置すると雨漏りがして大変なことになる」と屋根工事を勧められ、約60万円で契約した。しかし、慌てて高額な契約をしたことに不安を抱いたので解約したい。（80歳代）

工事の必要性、工期や費用が適正なのか、すぐに判断するのは難しいため、その場では契約せず、複数の事業者から見積もりを取つて検討しましょう。不要な場合はきっぱりと断りましょう。

事業者からの訪問や電話勧誘を受けて契約した場合、クーリング・オフできる可能性があります。困ったときは、早めに消費生活センターなどにご相談ください。（消費者ホットライン188）

### 【ひとこと助言】

台風や大雨・大雪、地震などの自然災害が毎年のように全国各地

相談は消費生活センターまで ■82-7830（ナヤミナシ）

## 休日当番医

期日	内科系	外科系	耳鼻科
9月7日(日)	さくま内科胃腸科クリニック 55-2500	明和赤ちゃんこどもクリニック※ 84-1166	川村耳鼻咽喉科医院 72-1337
9月14日(日)	おうら病院 88-5678	多々良診療所 72-3060	新橋病院 75-3011
9月15日(月)	はまだクリニック 80-1100	長谷川クリニック 80-3311	岡田整形外科クリニック 72-3163
9月21日(日)	たなか医院 62-2881	小西医院 86-2261	慶友整形外科病院 49-9000
9月23日(火)	ハートクリニック 71-8810	真愛ウイメンズクリニック (旧:真中医院) 72-1630	堀井乳腺外科クリニック 55-2100
9月28日(日)	県西在宅クリニック館林 55-3818	たけい小児科・アレルギー科※ 76-2525	川島脳神経外科医院 75-5511
10月5日(日)	蜂谷病院 63-0888	藤原医院 88-7797	館林医院 74-2112

### 歯科

館林邑楽歯科保健医療センター  
73-8818  
午前9時～正午

- ◆緊急 公立館林厚生病院（内科系・外科系） ■72-3140
- ◆夜間 館林市夜間急病診療所（内科・小児科）午後7時～10時（日・祝、年末年始除く）  
■73-2313（要受診前電話連絡）

●診療時間は、午前9時～午後5時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前9時～午後1時） ●内科系の※は、小児科のみとなります。



ねぎし まりこ  
板倉在住

コーラスグループで歌うこと、子どもたちと接することが好きなので仕事も楽しいそうです。

こばやし としこ  
海老瀬在住

機織りをすること、5人のお孫さんと遊ぶことが何よりも幸せだそうです。

## 始まりは旅館での会話

幼稚園教諭として職場で知り合った二人、両家族で訪れた温泉旅館で、子どもたちを楽しませることがしたいと同じ思いを話し、二人でお話し会を始めようと決心しました。名前も活動内容もその場で決めたそうです。

## 子どもたちへの思い

読み聞かせや工作の内容は子どもや家族が喜ぶものを前提にしていて、この考



レポーター  
広報編集委員  
いしかわ のりこ  
石川 典子

## 子どもたちが楽しいと、自分たちも楽しい

読み聞かせボランティア フルーツバスケット

えはずっと変わらないこと。「親子で楽しい時を過ごした思い出は一生の宝物になる。そのお手伝いがしたい。世の中はどんどん変わっていくけれど、今も昔も楽しいことは楽しいし、難しく考えずに子どもたちが楽しんでくれると、自分たちも楽しい」と思うそうです。公民館での学習支援の工作などにも参加していて、お話し会とは年齢の違う子どもたちとの関わりも楽しいとのこと。

## ずっと続けていきたい

「快く送り出してくれる家族と公民館の協力に感謝しています。お話し会に来てくれていた子どもたちが親になり、自分の子どもを連れて来てくれる。参加してくれる子どもがいる限り、続けていきたい」と話してくれました。

バスケットは自分たち、子どもたちというフルーツをやさしく包み込んであげたいという温かい思いが、コンビの名前に込められています。